

トライアキシャルコネクタ 取扱説明書 (CCM5/CCM5R/CCF5/CCF5R)

弊社製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

注意

本コネクタのご使用にあたっては、この説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また、ケーブルを取り付ける際は、この説明書にもとづき作業を行ってください。

なお、この説明書は必ず保管してください。

警告

- ケーブルの取り付けは、この説明書どおりに行ってください。
- ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、衝撃を加えたりしないでください。
- 電気技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

製品仕様

- 製品型名 CCM5 / CCM5R / CCF5 / CCF5R
- 適用ケーブル 4.8/1.0EFTXF(フジクラ), L-5CFTX(カナレ)
- 耐電圧 AC1000V, 1分間(各導体間:ケーブル接続時)
- 絶縁抵抗 DC500V, 5000MΩ以上
- 特性インピーダンス 75Ω

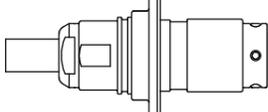


製品種類

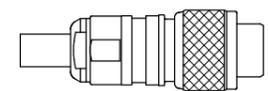
CCM5



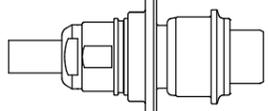
CCM5R



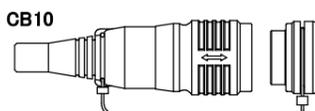
CCF5



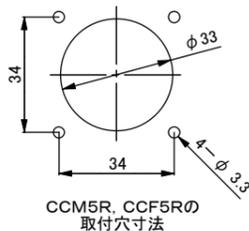
CCF5R



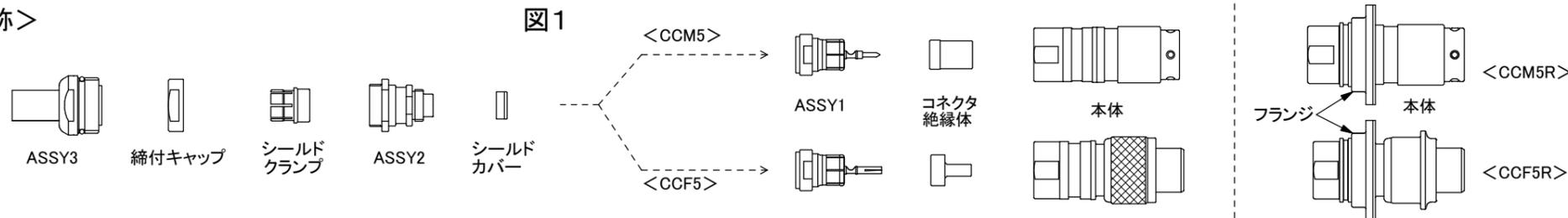
* ケーブルブーツ(別売)
CB10 (CCF5用), CB11 (CCM5用)



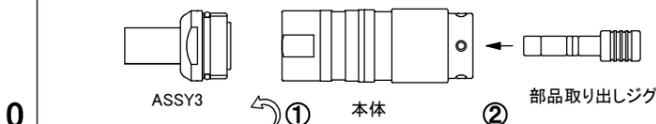
* ダストキャップ(別売)
CB12 (CCF5R用), CB13 (CCM5R用)



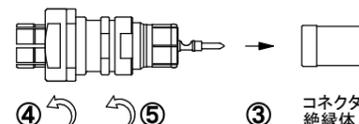
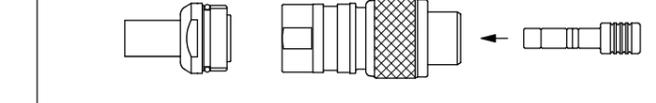
部品名称



<CCM5の場合>



<CCF5の場合>

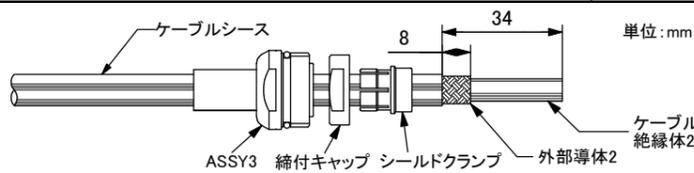


《 部品の取り出し手順 》

- ASSY3のねじを手でゆるめ、本体から外す。
- 付属の部品取り出しジグを右側から差込み、本体から内部の部品を取り出す。
★ 破損の恐れがありますので、必ず部品取り出しジグを使用してください。
- コネクタ絶縁体を手前に引いて外す。
- ねじを手でゆるめ、部品を外す。
★ 図1の各部品がそろっていることを確認すること。
★ 図1の部品は、さらに分解しないこと。

※ CCM5R, CCF5Rは、フランジ付きのもので、取付方法は、CCM5, CCF5とそれぞれ同様となります。

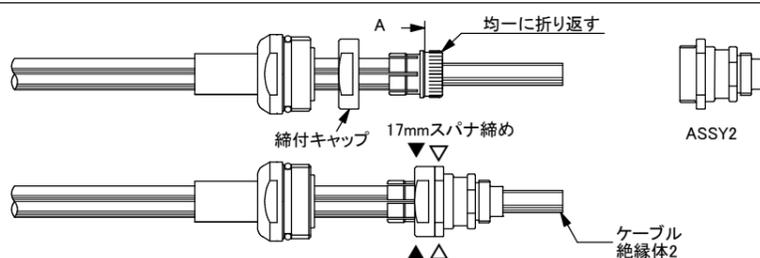
1



《 ケーブル取り付け手順 》

- ☆ 使用スパナ: 14mm, 17mm 各2本, 19mm, 23mm 各1本
- ◇ ケーブルにASSY3, 締付キャップおよびシールドクランプを向きに注意してとす。ケーブルブーツがある場合は、最初にとおしておいてください。
- ◇ ケーブルシースおよび外部導体2を左図の寸法で切り取る。
* 外部導体2の切りかすは、完全に除去すること。
* ケーブルシースを切るとき、外部導体2および絶縁体2を傷つけないこと。

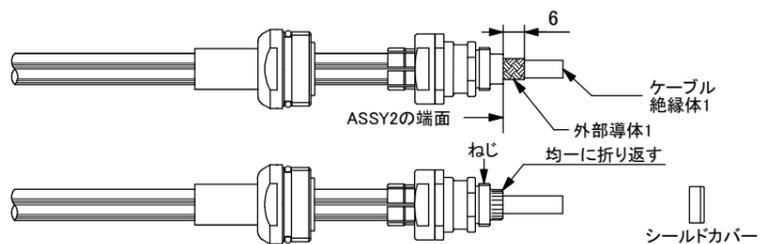
2



- ◇ シールドクランプをケーブルシース切り取り位置まで戻す。外部導体2網目をほぐしてから、シールドクランプ上に図のように均一に折り返す。折り返した外部導体は、左図のA部を越えないように切りそろえる。
* 均一に折り返さないと、ねじがゆるむ原因となります。

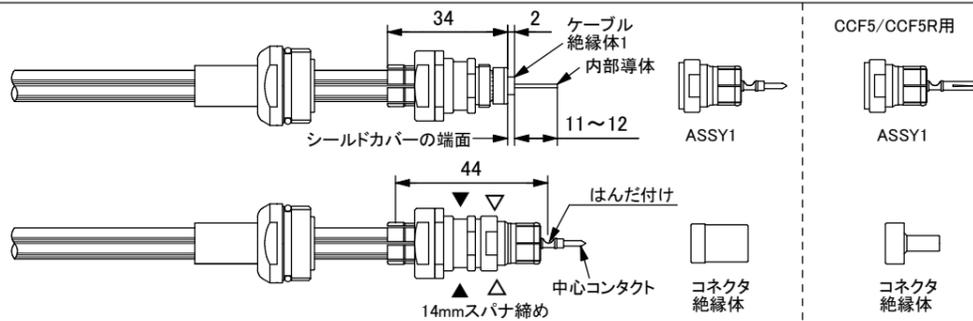
- ◇ ASSY2をケーブルに通し、締付キャップを17mmスパナで締め付ける(▼印箇所)。
* ▼印側をスパナで回して締め付けてください(以下同様)。
* 締付トルク: 4.0~4.5N・m
* ねじがゆるんでないことを確認すること。

3



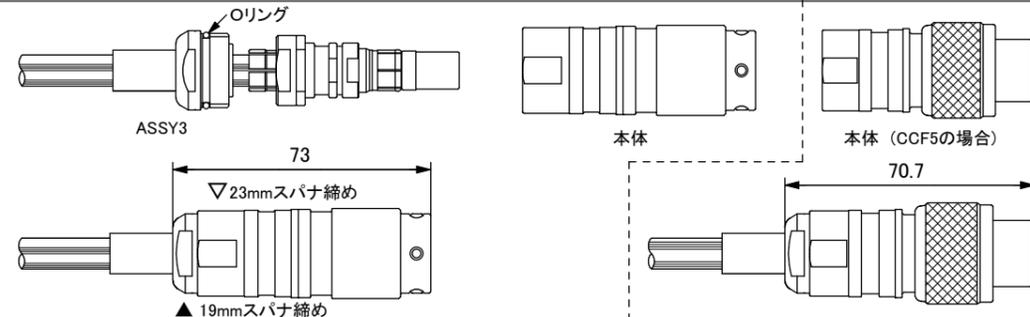
- ◇ ASSY2の端面でケーブル絶縁体2を切り取る。
* 絶縁体2を切るとき、外部導体1を傷つけないこと。
- ◇ ASSY2の端面から6mmの位置で、外部導体1を切り取る。
* 外部導体1の切りかすは、完全に除去すること。
- ◇ 外部導体1の網目をほぐし、ASSY2上に図のように均一に折り返す。折り返した外部導体1は、ねじにかからないよう切りそろえる。
* 均一に折り返さないと、ねじがゆるむ原因となります。
- ◇ シールドカバーを向きに注意して、奥までとおし、外部導体1を覆い隠す。
* ねじとの間に1mm程度の隙間ができます。

4



- ◇ シールドカバーの端面から2mmの位置でケーブル絶縁体1を切り取る。
* 絶縁体1を切るとき、内部導体を傷つけないこと。
- ◇ ASSY1を通し、▼印の位置で14mmスパナで締め付ける。
* ASSY1を通すとき、内部導体が中心コンタクトに収まっていることを確認してください。
* 締付トルク: 4.0~4.5N・m
* ねじがゆるんでないことを確認すること。また、締め付け後寸法を確認してください。
- ◇ ケーブルの内部導体と中心コンタクトをはんだ付けする。
* はんだ量は、ソルダーカップがふさがり程度。飛び散らないように注意すること。作業は素早く行い、はんだが確実に付いていることを確認すること。中心コンタクトがはんだ付け部で曲がった場合は、矯正してください。
- ◇ コネクタ絶縁体を中心コンタクトへ差し込む。

5



- ◇ 各部品がゆるんでないことを確認して、本体を差し込む(軽いロック感があるまで)。
- ◇ 本体とASSY3をスパナ(19mmと23mm)で締め付ける(▼印箇所)。
* 締付トルク: 5.0~6.0N・m
* ねじがゆるんでないことを確認すること。Oリング(ゴム: 黒色)は、本体の中に完全に隠れます。
★ 最後に、ケーブル取付後の寸法および取付状態などを確認してください。

注意

- 外部導体1, 2などの切りかすは、短絡の原因となりますので、コネクタ内部へ入らないよう注意してください。
- ねじは、必ず指定サイズのスパナを用い、規定のトルクでゆるまないよう締め付けてください。